|  |  |
| --- | --- |
| **27**（月） | だまされないやぐら - つの |
|  | **使16章6～10節**　その、パウロはをた。のマケドニアがって、「マケドニアにってて、たちをけてください」とするのであった。パウロがこのをたとき、たちはただちにマケドニアにることにした。らにをべえるために、がたちをしておられるのだとしたからである。(9～10) |
|  | Remnantはするほど、がえてくださっていることをましょう。にをしようとすれば、つのがです。１つ、がかれます。がにがっているので、のをらすのです。イスラエルがこれをしなかったゆえに、をっているが、、のとしてにきました。いまはが、としててられます。２つ、ヒーリングがかれます。やしは、ただだけができます。のはににして、やぐらになるようにするのです。のはのをいて、そのにうべ、がです。そして、と、からだをかすりとをすればいのです。これを24して、のみをけて、ほかのがかされるのもましょう。３つ、Remnantをきましょう。Remnantはをけるをんでみことばをり、をてキリストでえをしましょう。のれのでつのりをして、と、からだをかすとりをりましょう。このとき、ただ、、のをするでしょう。のつのをりでするようにりましょう。 |
|  | 、のためにつのをりでめるになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.10.31.ヨーロッパ伝道集会2講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **28**（火） | をしなさい |
|  | **創39章1～6節**　がヨセフとともにおられたので、はするとなり、そのエジプトののにんだ。(2) |
|  | Remnantはをしましょう。のえがあれば、のできることができます。そうすれば、、にえてんでくことはありません。Remnantにどんなのえがあるのでしょうか。１つ、されたみことばがするです。ヨセフがいときからけたのが、エジプトでしました。はいつでもするみことばをにえてくださいます。Remnantは、そのをしっかりとっていればいのです。２つ、をするみことばがするです。のさまざまなと、をして、できるがれるでしょう。との、ののことがりつきがこります。そのために、Remnantはにだまされてはなりません。３つ、はヨセフにみことばでをせてくださいました。そのみことばがするのがこりました。がRemnantをてがともにおられることをるようになり、をけるようになったのです。Remnantは、いつでものがかしましょう。これがりののりです。 |
|  | 、のみことばがするのえでがかされるのをますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2025.01.26.1部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **29**（水） | のなまり |
|  | **創39章19～23節**　のは、ヨセフのにねたことにはもしなかった。それは、がとともにおられ、がをしても、がそれをさせてくださったからである。(23) |
|  | Remnantがつっておくべきことがあります。これからこることのに、のがえられているというです。それがのなまりです。Remnantは、どんなえをけてえればいのでしょうか。１つ、ヨセフがれをせられてにきました。ところで、そのがをえるでした。Remnantはでがこることもあります。それは、Remnantがとうのをひっくりして、わざわいをひっくりすです。２つ、ヨセフがいたポティファルのとをがされました。そのがをえるになりました。がともにおられるがにれめたのです。これがRemnantのです。３つ、はでヨセフににうようにされました。のがをえるになったのです。はRemnantがくをにいてくださいます。そのでうとしみは、のになり、のわざわいをえるになります。Remnantがをっていると、すべてののわざわいをめます。これからなをってりでわいましょう。 |
|  | 、と、をえられるをるRemnantになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2025.01.26.2部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **30**（木） | つののやぐらから |
|  | **使1章1～8節**しかし、があなたがたのにむとき、あなたがたはをけます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの、さらにのてまで、わたしのとなります。(8) |
|  | をかして、ネフィリムをやし、どもたちをてるつのがです。これがのです。たちのとがとうとき、のとのえがえられます。そのとき、のえがついてきます。すると、をかすプラットフォーム、り、アンテナのえをけるようになります。１つ、プラットフォームはがるしかないです。がプラットフォームにて、をけて、をます。すると、のをえとしてけます。２つ、にいる、をよくてみましょう。らがまるがのだからです。らをかすをがらしてくださるようにりましょう。これがりのです。３つ、プラットフォームとりがられれば、のみことばがじるアンテナがちます。すると、３がきます。そして、にして、みことばがすることをできます。プラットフォーム、り、アンテナのえをやぐらといます。やぐらをっているRemnantはりになります。がわれるつのにをわせて、やぐらをわうをずってりましょう。 |
|  | 、のであるつのにをわせて、のやぐらをわいますように。イエス・キリストのによっておりします。アーメン2025.02.01.レムナントとTCK伝道学 |

|  |  |
| --- | --- |
| **31**（金） | チーム |
|  | **ロマ16章25～27節**　の、すなわち、イエス・キリストをえるによって、また、にわたってされていたのによって──(25) |
|  | Remnantはのになります。そのためにRemnantだけのチームのえをけましょう。まずにとがって、がうりをめるのです。イエスが、のとのたしをえてくださいました。これをりでわえば、ただのえをわうことができます。そのとき、をえるのターニングポイントがこります。１つ、ローマ16のは、24りチームでした。らはがとにされたことをつけました。２つ、このは、に24するチームでした。の、、のをしてをかされるをました。３つ、らはいのちをかす、に24するチームになりました。このはいのちをかけてをえてわうでした。それとともにをねてってRemnantをてました。たちのRemnantも、このようなHoly Masonになるりをめましょう。これからは、のをやすやぐらをてましょう。これがやぐらです。Remnantがをわうのをっているとしてつのです。いまはがくださったやぐらをわうをちましょう。 |
|  | 、のであるつのにをわせて、のやぐらをわいますように。イエス・キリストのによっておりします。アーメン2025.02.01.核心訓練 |

|  |  |
| --- | --- |
| **11/1**（土） | ヨセフをれた |
|  | **創40章21～23節**　ところが、はヨセフのことをいさないで、れてしまった。(23)、 |
|  | ヨセフがれをせられて、にれられたとき、をけました。そのがからてくとき「をいしてください」といましたが、はヨセフのことをれました。がれるようにされたのです。ここでRemnantはつのことをましょう。１つ、をるです。Remnantはやをつのではなくノータイム(No time)のをりましょう。がので、いるがのです。ここでのをけるになるのです。２つ、をるです。くのはをつけようとします。しかし、Remnantはノーウェイ(No way)です。Remnantのはがと、たちと、すべてのこととともにおられる、そののです。そのにってけばいのです。３つ、をるです。Remnantは、にって、にめるのではありません。Remnantがくすべてのはノーバディ(Nobody)です。それゆえ、のをつけるのです。そのとき、のみことばがきてきめるので、みことばのがてきめます。Remnantはノータイム(No time)、ノーウェイ(No way)、ノーバディ(Nobody)のをにってりましょう。 |
|  | 、ノータイム(No time)、ノーウェイ(No way)、ノーバディ(Nobody)のがのえになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2025.02.02.1部 |